

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
 代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰
 (J A S D A Q ・ コード番号 2694)
 問合せ先 常務取締役 川上 一郎
 (TEL. 022 - 237 - 5566)

平成 22 年 3 月期通期業績予想との差異及び期末配当予想の修正
 ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 21 年 11 月 11 日付当社「平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（非連結）業績予想との差異及び通期（非連結）業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

また、期末配当予想の修正及び特別損失の計上についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 業績予想の修正等

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,081	712	827	468	10.82
今回発表予想 (B)	15,966	263	401	292	6.69
増 減 額 (B-A)	△1,114	△448	△425	△175	—
増 減 率 (%)	△6.5	△63.0	△51.5	△37.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	13,429	596	786	34	0.93

2. 修正理由

当社は、個人所得の低迷や、節約志向の高まりから外食の頻度が減少することを想定し、平成 22 年 3 月期の方針といたしまして、新規出店を抑制する一方、不振店の業態見直しや老朽化した店舗のリニューアル、メニューの見直し、コストの削減などを積極的に取り組んでまいりました。

寿司部門は、「旬の食材をいち早く多くのお客様にお届けする」ことを基本方針に掲げ、グランドメニューとキャンペーン商品を毎月新しくし、創作寿司や 1 皿 3 貫盛りなど当社オリジナル商品で集客力増加に努めて参りました。さらに地域性を考慮した価格構成別のメニューを採用することで、よりお得感を打ち出し、売上増加を目指して参りました。また、既存店 19 店舗をリニューアルし、その中でも秋田、岩手、青森、宮城地区の一部既存店 9 店舗におきましては、寿司 1 皿 100 円均一の新業態「奥羽寿司製作所」にリニューアルし客数増を図りました。しかしながら、景気悪化に伴う個人消費の落ち込みの影響を受け当初予定の来店客数を大幅に下回り、売上計画が未達成となりました。

居酒屋部門はグランドメニューの見直し、店舗の改装・業態転換などを進めながら中心業態であ

る、とりあえず吾平では「韓国フェア」「情熱グルメフェア」「吾平の冬コレフェア」など提案型のメニューを実施し売上高の維持に努めました。当事業年度は業態転換を含め11店舗を新規出店、不採算店9店舗を閉店いたしました。また平成21年8月1日に株式会社グローバルアクトとの合併により91店舗増加した結果増収となったものの、来店客数が当初予想より大きく下回ったことから、売上計画が未達成となりました。一方、売上原価、販売管理費及び一般管理費について、合併効果による削減は見られたものの、売上高の減少分を吸収するには至らず営業利益、経常利益、当期純利益について通期業績予想を下回る結果となりました。

3. 配当修正予想

上記に伴い、当初1株当たりの期末配当金を3円00銭と発表しておりましたが、今回1円50銭と修正させていただきます。

	1株当たりの配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成22年2月5日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
今回修正案	—	0.00	—	1.50	1.50
増 減 額 (B-A)	—	0.00	—	△1.50	△1.50
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期(平成21年3月期)実績	—	0.00	—	3.00	3.00

4. 特別損失の計上

当事業年度においては、長期的な景況感の低迷の影響、競争が激化したことなどが原因で店舗の収益性が悪化いたしました結果減損損失が発生いたしました他、不採算店舗の閉店、不調業態から好調業態への業態転換を進める中、固定資産除却損、店舗閉店損失及び店舗閉店損失引当金の繰入を実施しております。

また、株式会社グローバルアクトとの合併により抱合せ株式消滅差損が発生いたしました。以上のことから特別損失として979百万円計上いたしましたので、内訳をお知らせいたします。

- ① 減 損 損 失：594百万円
- ② 抱合株式消滅差損：313百万円※1
- ③ 店 舗 閉 店 損 失：63百万円※2
- ④ 閉店損失引当金繰入：4百万円※3
- ⑤ 固 定 資 産 除 却 損：2百万円※4

※1及び※4は、平成21年11月11日「平成22年3月期第2四半期累計期間（非連結）業績予想との差異及び通期（非連結）業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせ済みです。

※2は、平成21年11月11日「平成22年3月期第2四半期累計期間（非連結）業績予想との差異及び通期（非連結）業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせした額より新たに31百万円増加しております。

※3は、平成21年11月11日「平成22年3月期第2四半期累計期間（非連結）業績予想との差異及び通期（非連結）業績予想の修正ならびに特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせした額より店舗閉店損失に15百万円振りかえた結果14百万円減少しております。

以 上